

震災復興プロジェクト in 鹿北

- 1 目的 鹿北の地より、熊本地震からの復興に向けて自分たちに何ができるのかを考え、生徒会が主体となり自主的な活動を創り上げる。そのことを通して、自治力を磨き、集団としての質を高めていく。

保護者や地域の方々に、熊本県で暮らす一人としての中学生の今の思いを届け、震災復興についてともに考えていく啓発の機会とする。

- 2 期日 平成29年4月16日(日)

- 3 会場 鹿北中学校体育館

- 4 日程 **合唱「幸せ運べるように」** ※手話を交えて

13:35～ ○生徒入場完了 ※体育館入り口に待機
○開会 【主計 寿弥】 ※一言添えて
○ビデオ上映 【坂口 嘉洋】
○生徒代表の言葉 【浦田 透真】 ※震災復興の思いを込めて
○指揮 【島北 千代音】
○伴奏 【今本 みゆき】 ※終了後はその場に座る

タオル贈呈

13:50～ ○贈呈者紹介 【石川 竜童】
○タオル受け取り 【古川 莉緒】
○贈呈者より一言 【田中 康智さん】 たなか やすのり
○生徒代表お礼の言葉 【野中 優希奈】

14:00～ 開会 ※司会 【主計 寿弥】 一言添えて
生徒退場

- 5 内容 **合唱&手話「幸せ運べるように」**

3月より、生徒会が中心となり、熊本地震から1年を迎えるにあたり、自分たちにできることを話し合い、そして、被災された方々、復興に向けて生活を取り戻そうと必死で頑張っている方々へ、歌と手話を通して元気を届けたいと考え、今回の企画を計画した。

タオル贈呈

東京都板橋区在住の田中康智さんより、熊本地震で被災した方々のためにと、タオルを届けたいとの申し出があった。そして、授業参観後及びPTA総会の日が震災から1年ということで、この日に合わせて来熊されることとなった。

- 6 その他 ○ 歌を通して、手話を通して、何を伝えたいのか、何を届けたいのかを一人一人が練習や取組を通して考え答えを出して当日を迎える。
○ 今回の取組を通して、どこが成長したのかをしっかりと自覚できるようにする。そして、次にどのようなにつなげてくのかを考えられるようにする。
○ 当日の記録をビデオ等に残しておく。 ※担当【六反田 祥子】
○ 校長室をタオル贈呈者の控え室とする。
○ 必要な物品、司会原稿等は事前に準備する。

取組の様子



「幸せ運べるように」練習(3月中旬～下旬)



生徒集会にて生徒会執行部より企画の提案(3/16)



鹿北中生徒会宿泊研修にて手話の練習(3/29・30)



生徒会リーダーが全校生徒へ手話を教える(4月上旬)



体育館での2・3年生全体練習(4/11～)

1年から3年まで縦割り班をつくり1年生に、2・3年生が教える(4/12～)